

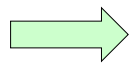


センサデータ取引を支える IoTプラットフォーム



IoTのビジョン

- IoTの多種多様なセンサデータの利活用
- 個人設置センサーの活用拡大
データの提供によるインセンティブ
(例) 街頭カメラ、コンビニや店舗のカメラ
- 廉価なデータの取引でもインセンティブ
参加/離脱可能なプラットフォームの必要性
- センサーデータの会員グレード別提供
提供データのランク化、加工データビジネス
(例) ローカル天気予報, ローカル渋滞情報, マーケティング, コンサル

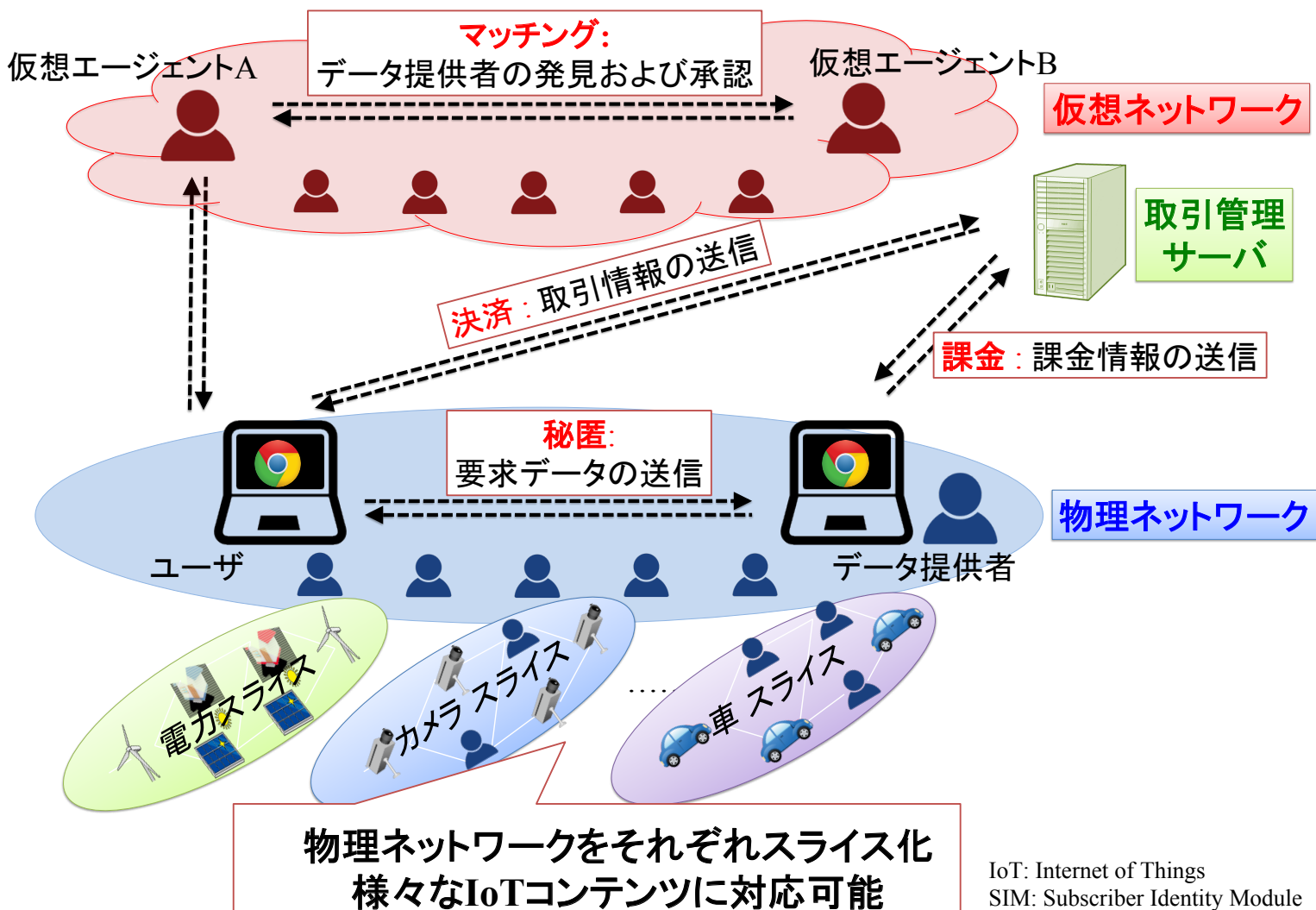


IoT発展の必要条件

IoTプラットフォームの機能

- マッチング**: ユーザが欲しいデータを仮想ネットワーク上で探索
- 秘匿**: ユーザとデータ提供者間での信頼性のある取引
- 決済**: 第三者介在決済による公平性
- 課金**: 第三者介在課金による公平性
- ユーザのランク化**: ランク別データの提供(加工、フィルタリング等)
- IoT SIM**: IoTプラットフォームへの参加者の認証

センサデータ取引を支えるIoTプラットフォームの概要



IoT: Internet of Things
SIM: Subscriber Identity Module

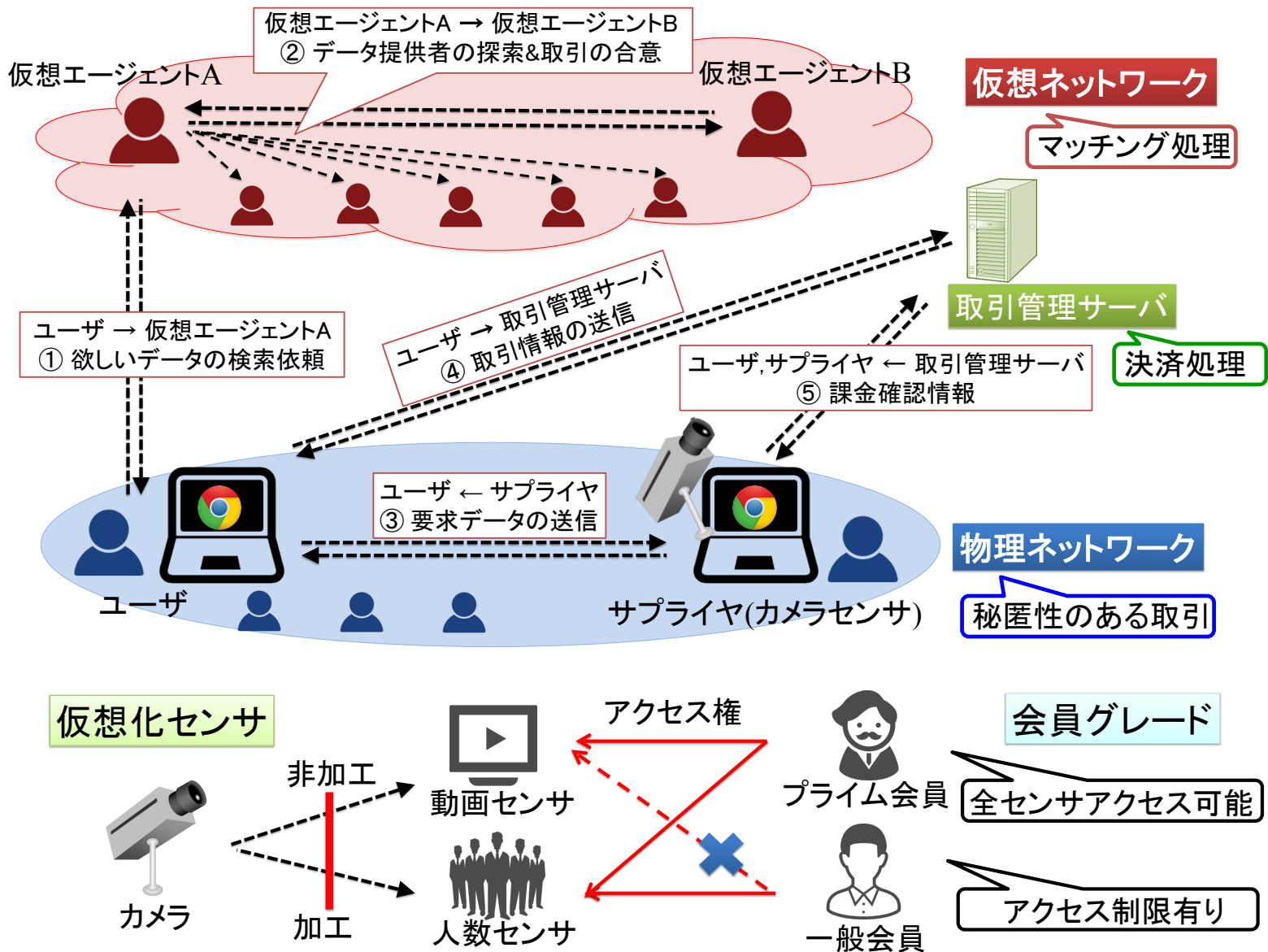


センサデータ取引を支える IoTプラットフォーム



様々なセンサデータ(カメラ映像,電力,etc.)が取引可能なプラットフォーム。

- マッチング：ユーザの要求するデータを仮想ネットワーク上から検索(PIAX)
- 秘匿性：ユーザとサプライヤ間での取引の信頼性の確保 (WebRTC)
- 決済処理：第三者を介した取引の決済の公平性



EVNO: Energy Virtual Network Operator PIAX: P2P Interactive Agent eXtensions WebRTC: Web Real-Time Communication

研究者名

山中 直明 (Yamanaka Naoaki)
理工学部 情報工学科

お問合せ先

Mail : smartnw@yamanaka.ics.keio.ac.jp
URL : <http://www.yamanaka.ice.keio.aac.jp>

本研究の一部は、総務省戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)の、先端的通信アプリケーション開発推進型研究開発「PIAX 対応型エネルギーコントロールゲートウェイの研究開発」の成果です

